

2022・広大マスタースズ出前講座報告

「小学生のためのおもしろ理科実験」

谷本能文・樋高義昭

- (1) 令和4年8月1日 木谷地域センター 参加者 8名
- (2) 令和4年10月7日 アイキッズクラブショーシ家駅前店 参加者 18名
- (3) 令和5年1月29日 川上住民自治協議会防犯部会 参加者 40名

内容:

(1)では、「磁石の不思議」の実験をしてもらった。スチール缶とアルミ缶を、磁石を使って調べたり、身の回り品を磁石にくっつくものとくっつかないものに分けてもらったり、水に浮かべたシャープペンの芯を磁石で動かしたりした。内容が盛り沢山で、低学年の児童には少し難しい実験であったかもしれない。

(2)と(3)のテーマは、「スライムをつくってみよう」と冷たい冷たいマイナス196°Cの世界」である。ポリビニルアルコール(PVA)水溶液にホウ砂水を加えスライムを作る実験と、空気の話やドライアイス・酸素ガス・液体窒素を使って、火のついた蚊取り線香やローソクをこれらの入ったコップの中に入れるとどうなるかなどの演示実験をした。最後は液体窒素を使った実験で、花を液体窒素に浸けると花はどうなるか、膨らませた風船を液体窒素に浸けるとどうなるかの実験である。参加者のひとりひとりに実験してもらった。小学校では扱わない初体験のこともあり、みんな歓声を挙げながら実験していた。こどもたちには理科の面白さを十分に体験してもらえたと思う。

歳をとり実験の準備をするのがおっくうになってきたので、今回で本出前講座をおしまいにすることにした。

最後に、実験の際いろいろとお手伝いいただいた関係者の皆様に感謝します。また、本講座は、広島大学大学院統合生命科学研究科自己組織化学研究室・大阪大谷大学薬学部分析化学講座のご協力をいただいた。